

【資料4】



第5次町田市農業振興計画の
検討に向けた
第4次町田市農業振興計画のふりかえり



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(1) 第4次町田市農業振興計画の進捗評価(2025年度時点)

55%

(農業経営の安定化を図る補助事業を除くと61%)



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(2) 第4次町田市農業振興計画における主な取組と評価

基本目標 I 意欲的農業者が安心して生産できる環境づくり

【評価できる点】

- ◎ 農業研修事業では、農業経営に必要な知識の習得を加えた新たなカリキュラムを実施しています。また、農業研修修了生を対象とした期間限定の市有農地貸借制度を試行しています。
- ◎ 農業のデジタル化の推進事業では、国のeMAFF(農林水産省共有申請サービス)の構築に伴う環境整備を完了したほか、農業振興補助事業においてスマート農業に係る経費を補助対象に加えるなど、市内農業のデジタル技術導入促進の体制を整えました。
- ◎ 認定農業者・認定新規就農者事業において、申請書類を一部修正することで申請者及び市双方の負担軽減を図りました。



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(2) 第4次町田市農業振興計画における主な取組と評価

基本目標 I 意欲的農業者が安心して生産できる環境づくり

【今後の課題】

- △ 市内総農家戸数および市内経営耕地面積は年々減少しています。町田の農業を維持していくために、農家戸数及び経営耕地面積の減少を緩やかにしていく必要があります。
- △ 農業研修事業の卒業生など、新規就農を目指す方が借りられる市内農地が不足していて、結果として新規就農に結び付きにくくなっています。農地の確保や貸借促進等により、新規就農しやすい環境の整備が求められています。



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(2) 第4次町田市農業振興計画における主な取組と評価

基本目標Ⅱ 都市農地の保全と活用による多面的機能の発揮

【評価できる点】

- ◎ 農地再生事業では、研修農場修了生の新規就農用農地として未利用農地の整備を行いました。
- ◎ 都市農地貸借円滑化事業では、町田市農業協同組合と連携し傷病等の理由で生産緑地での耕作が困難な土地所有者に対して借り手とマッチング支援事業を始めました。
- ◎ 農福連携事業では、意欲のある福祉事業者に対して土地貸借に関する相談や調整などの支援を行い、事業化に向けて試験実施をしました。



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(2) 第4次町田市農業振興計画における主な取組と評価

基本目標Ⅱ 都市農地の保全と活用による多面的機能の発揮

【今後の課題】

- △「農地を縮小したい」と考えている方が多いというアンケート結果が出ています。未利用農地の再生に留まらず、今ある農地をより効率的に整備・再生していく方法を検討する必要があります。
- △今ある都市農地を有効活用するため、都市農地円滑化法に基づく生産緑地の貸借や農地バンクによる市街化調整区域の貸借を継続して進めていく必要があります。また、地域計画による将来の農地の管理が求められています。
- △農福連携事業については、継続して取り組んでいくために今後の方向性や目標を再検討する必要があります。



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(2) 第4次町田市農業振興計画における主な取組と評価

基本目標Ⅲ 立地を活かした地産地消の推進

【評価できる点】

- ◎ 市内3か所の中学校給食センターを整備し、町田市農業協同組合の協力のもと市内すべての中学校で市内産農産物を使用した給食供給を開始しました。
- ◎ 町田市農業協同組合や子ども関連施設と連携し、子育て世帯にアグリハウスへ継続的に来ていただく取組として子ども向けイベントを実施しました。2025年度における「子育て世帯のうちまち☆ベジを購入したことがある人の割合」は77%でした。



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(2) 第4次町田市農業振興計画における主な取組と評価

基本目標Ⅲ 立地を活かした地産地消の推進

【今後の課題】

- △ アグリハウスでの子ども向けイベントは実施できましたが、子育て世帯や共働き世帯が購入しやすい市内産農産物の販売環境整備までは至りませんでした。今後は購入しやすい販売環境の検討・整備をしていくことが求められています。
- △ 販売環境整備にともない、より多くの市内産農産物を購入していただくため、PRを継続して行っていく必要があります。



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(2) 第4次町田市農業振興計画における主な取組と評価

基本目標IV 多様な交流機会をきっかけとした市民の農に対する魅力の向上

【評価できる点】

- ◎ 町田薬師池公園四季彩の杜西園では、直売所で市内産農産物を販売しているほか、収穫体験やマーケット等のイベントを実施しました。また、ふるさと農具館や七国山ファーマーズセンター等の四季彩の杜エリア内の施設で連携したイベントの開催やお散歩マップの配布等、気軽に農にふれあう機会を提供しています。



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(2) 第4次町田市農業振興計画における主な取組と評価

基本目標IV 多様な交流機会をきっかけとした市民の農に対する魅力の向上

【今後の課題】

△ ふるさと農具館においては、四季彩の杜エリア内の施設と連携したイベントを実施しましたが、年間入館者数の目標値を達成することはできませんでした。引き続き近隣施設との連携を図りながら、入館者数増加に向けた取組を行っていく必要があります。



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(2) 第4次町田市農業振興計画における主な取組と評価

今期で取組を完了した事業①

【農業のデジタル化推進事業】

国のeMAFF(農林水産省共有申請サービス)の構築に伴う環境整備を完了しました。

【災害時協力農地・井戸協定事業】

引き続き関連部署と情報共有を図りながら、「地域防災計画」において協定の継続に努めていきます。



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(2) 第4次町田市農業振興計画における主な取組と評価

今期で取組を完了した事業②

【学校給食食材供給事業(中学校)】

3つの中学校給食センターにおいて市内産農産物の供給が始まり、事業が完了しました。今後は、小学校給食と同様に市内産農産物の供給継続に努めます。

【薬師池公園四季彩の杜事業】

西園を中心とした各施設が連携し、さまざまな農にふれあう機会を提供しました。事業としては完了しますが、今後も取組を継続していきます。



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(2) 第4次町田市農業振興計画における主な取組と評価

今期で取組を完了した事業③(一部取組の完了)

【農業体験事業】

金森と三輪緑山にある2つの町田市市民農園は、法改正により農地所有者や法人など多様な主体が貸借によって市民農園を開設できるようになったことをふまえ、使用貸借期間が終了する2026年度末をもって閉園します。

今後は、農家開設型市民農園や体験農園等の開設支援及びPRに努めます。



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(3) 第4次町田市農業振興計画の総括①

基本理念

「市民と農をつなぐ」魅力ある町田農業の推進

目指す方向性(改訂時に追加)

市内産農産物の生産量・消費量の増加



農業者支援を主とした計画であり
十分に市内農業の振興ができていない



1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ

(3) 第4次町田市農業振興計画の総括②

- ◆ 第3次農業振興計画とほぼ変わらない取組内容
- ◆ ただ事業を実施することが目的となってしまったスケジュール
- ◆ 補助事業の実施件数など他者任せの指標設定
- ◆ 事業実施過程の成果を反映しづらい指標設定

1. 第4次町田市農業振興計画の評価まとめ



(3) 第4次町田市農業振興計画の総括③

市内産農産物の認知拡大については一定程度の成果あり



販売促進や環境整備による市内産農産物の消費量増加



市内産農産物の生産量増加
農地の有効活用

2. 第5次町田市農業振興計画の体系図案

基本理念

地産地消の推進

